

(自治会活動等へのICTの利活用－2)

市民情報化サイト 岡山市電子町内会 (岡山県岡山市)

〔概要〕

インターネットを活用して町内会活動を行ったり、地域情報を発信したりして、地域住民同士のコミュニケーションの促進を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として電子町内会のサイトを構築。

(平成14年度 eまちづくり交付金事業)

〔コラム〕

岡山市には現在1,720の単位町内会、小学校区単位で構成する96の連合町内会があり、町内会加入率は世帯の約83.1%(平成25年11月末現在)と、町内会は地域づくりの母体となっています。

電子町内会とは、岡山市が提供するWebサーバーと電子町内会システムにより、町内会が自主的にホームページを作成し、地域活動やエリア情報を発信、電子町内会システムによる電子掲示板やアンケート機能を活用し会員相互の意見交換を行い、地域情報を共有することにより地域コミュニティの活性化につなげようとするものです。

平成14年3月に7つの町内会287人で始まったこの試みも、現在では77団体(単位町内会ベースでは724町内会)、会員6,824人が参加する地域ネットワークを形成しています。

充実した地域の情報発信による活動事例を次ぎのとおり紹介します。

- 不審者情報や防災情報などタイムリーな話題が掲載されている。
- 電子町内会をきっかけに、世代を越えた交流や新たな活動グループができるなど、着実にリアルコミュニティの活性化につながっている。
- 地域課題の情報発信を行うことにより、雑草倒木に埋もれていた滝を復元するボランティア組織ができ、滝をきっかけに交流が続いている事例。
- 天然記念物の魚(アユモドキ)を町内上げて保護している事例。
- 地域の特産物マスカットの成長過程をリアルタイムで紹介している事例など。

以上のように地域を愛し育む活動につながっています。

また、各町内ホームページから発信される情報は市民のみならず遠く岡山を離れた方にも届き、いつまでも郷土岡山を身近に感じることができます。

ICTの普及とともに電子町内会は全市域に広がりつつあります。事例にもあるとおり最初のご近所同士の何気ない会話から始まり、やがて、市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献できています。

〔制作費(内公的な補助額)〕

【現システム構築】 19,199,250円

円

システム機器等賃貸借 195,300円

